



# おだ かつひさ PRESS



〒216-0003  
川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号  
TEL & FAX: 044-856-5456  
E-mail: oda@odakatau.com  
URL http://odakatsu.com/

## 里親と養子縁組を一体的に支援する 「里親支援センター」の設置を ～親子が分かれて暮らさざるを得ない子どもへの 「社会的支援」の強化を～



川崎市議会 議員(宮前区)  
おだ かつひさ

### ◎家庭的養育の重要性

令和4年の改正児童福祉法では「児童等に対する家庭および養育環境の支援を強化」することが大眼目となる。施設入所ではなく家庭的養育が原則。

その一方で、委託された子どもを「児童相談所によって不当に引き上げられた」という里親からの訴えや悩みをお聞きするケースが増えています。



### 里親登録を増やすことが喫緊の課題

■里親等への委託児童数の見込み (川崎市子ども・若者の未来応援プラン) (単位:人)

年度	第3期					実績 R5 (2023)
	第2期 R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	
養育里親	87	92	101	107	112	66
養子縁組里親	10	10	10	10	10	10
親族里親	10	11	12	13	14	12
ファミリーホーム	20	20	20	20	23	3
計(里親等)	127	133	143	150	159	91

### ◎「里親支援センター」の設置を

現在の、フォスタリング機関の取組みを見ると、里子よりも里親に支援の重きを置いている実態があります。

「里親支援センター」は令和4年、改正児童福祉法により「児童福祉施設」として位置付けられた「里親および児童を一体的に支援」する施設です。

現在の2つのフォスタリング機関は、業務委託ですが、仮に「里親支援センター」が設置された場合には、本市が認可を行う児童福祉施設となります。すなわち、職員の配置基準などに国基準に準拠するので、現在の委託業務よりも手厚い人員の配置およびサービスが期待できます。

令和8年度策定予定の「子ども・若者の未来応援プラン」第3期の中で、「里親支援センター」の設置を検討できないのか、3月11日の予算審査特別委員会で質疑を行い、「設置に向けた検討を進めて参りたい」との答弁を得ました。設置に向けて議論を進めて参ります。

### ◎里親と里子の一体的な支援の強化を

現在、川崎市には2つの民間フォスタリング機関(主に里親制度を知ってもらうための広報や普及啓発活動および里親家庭の支援を行う)があります。

ところが、それぞれ、養育里親担当と養子縁組担当と役割が分担されていることから、一体的な支援を求める要望が出されています。

虐待経験や発達に課題がある子どもへの対応など、さらには思春期を迎え、親子の関係が難しくなる課題など、困難な課題を抱えている里子および里親のニーズにあった支援が重要なのです。

### 家庭養育優先原則とパーマネンシーの保障の理念が重要。

#### 【パーマネンシーの具体例】

- ・子どもが家庭で育つ権利を保障する
- ・子どもと養育者や養育環境との永続的な関係を重視する
- ・子どもに安定的なケアを保障する(パーマネンシー保障)
- ・子どもに信頼できるひとりのおとなとの永続的な関係性をもつ取り組み

### おだ かつひさ (織田 勝久) プロフィール

- ◆1961年、川崎市幸区生まれ。 駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業 (地方自治、都市政策専攻)
- ◆国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。  
現在6期目。市議会総務委員会委員長、健康福祉委員会委員長、議会運営委員会副委員長、市議会政策担当者会議メンバー、市監査委員等を歴任。みらい川崎市議団元団長。立憲民主党政令市政策協議会会長。
- ◆ボーイスカウト川崎第54団育成会長、宮前区少年野球連盟顧問、宮前区ゲートボール協会顧問。原水禁川崎市連事務局長。
- ◆尊敬する人物/ケネディー元アメリカ大統領 ◆好きな作家/司馬遼太郎、宮城谷昌光 (時代の変革期の人間模様に興味あり)
- ◆好きな言葉/知行合一、嫌を避くる者は皆内足らざるなり ◆有馬在住 ◆第44代川崎市議会副議長